

2022年度第5回理事会報告

開催日時:2022年12月17日(土) 10:00～12:00

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長からの挨拶に続いて、出席者全員が自己紹介を行った。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2022年度第5回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より資料に基づき説明があった。審議の結果、10名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2024年度秋季大会について

空閑会長より、2024年度に開催される第72回秋季大会の開催校について説明があった。審議の結果、2024年度秋季大会開催校が満場一致で承認された。

第3号議案 学会公式Twitterの運用について

総務担当木下理事より、Twitterの今後の運用方針案について配付資料に基づき説明があった。審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 学会ホームページのデータ保存期間について

総務担当木下理事より、学会ホームページ上のデータ保存期間について、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、まずは掲載されている情報を整理して見やすいページを維持することとし、古い情報はアーカイブ化していくことが満場一致で承認された。

第5号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2022年度会員動向

総務担当木下理事より、2022年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 2023年度事業計画案および予算案の提出について

総務担当木下理事より、2023年度事業計画書および予算案の提出依頼があった。

3. 2022年度期中監査報告

大島監事および岡部監事より、12月2日に行われた2022年度期中監査について配付資料に基づき報告があった。

4. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

5. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より配付資料に基づき、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。

6. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より配付資料に基づき、10月28日(金)に韓国主催の日中韓国際シンポジウムが開催されとの報告があった。中国 사회복지研究専門委員会による「東アジアフォーラム」の開催日が12月27日に変更となった。本会より会員1名が自由研究発表を行う予定である。また、第71回秋季大会では日本が幹事国となって国際シンポジウムを主催する。

7. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、学会賞審査対象図書の推薦について配付資料に基づき報告があった。

8. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

9. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事より、随時、学会ホームページの更新および多言語翻訳を行い、定期的に広報活動を行っているとの報告があった。

10. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員の久保理事より、学会事務局で保管している史資料の調査について準備を進めているとの報告があった。

11. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、スタートアップ・シンポジウム、CS-NET、リレーエッセイおよびサロン企画等の進捗状況等について、配付資料に基づき報告があった。

12. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：11月1日（火）に第1回定例研究会「ヤングケアラーをめぐる家族と社会を考える」を開催した。第2回定例研究会は2023年2月に開催予定である。12月10日（土）に研究大会・シンポジウムを開催し、盛会に終わった。
- ・東北地域ブロック：11月23日（水・祝）に第3回東北部会委員会および第21回大会（青森大会）を対面開催した。現在、地域ブロック運営のための諸規程の整備を進めている。
- ・関東地域ブロック：機関誌『社会福祉学評論』にエディターズキックを導入した。関東地域ブロック所属の会員にはメールマガジンにて周知済みである。2021年度奨励賞の授賞者を決定し、後日公表の予定である。2022年度年次大会は2023年3月19日（日）にオンラインでの開催を予定している。
- ・中部地域ブロック：報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック：第51回若手研究者・院生情報交換会を「これからの社会福祉研究を考えよう!」をテーマに11月26日（土）に開催した。第52回は2023年1月14日（土）に開催予定である。2022年度年次大会を2023年2月26日（日）に同志社大学今出川キャンパスにて開催予定である。
- ・中国四国地域ブロック：秋季大会開催候補校の検討を行った。
- ・九州地域ブロック：オンラインおよびメールにて運営委員会を開催し、第19回フォーラムの企画案やシンポジスト等について検討を行った。機関誌『九州社会福祉学』の編集作業および2023年度研究大会の準備を進めている。

13. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）（P.44-P.47 参照）

・後援（協賛）依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、1件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、初期キャリアにある研究者のニーズ調査は次年度に実施予定であるとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

高良理事より、第2回全体会議の報告があった。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より、2023年3月25日(土)に「社会政策としての住宅政策と居住福祉に関わる実践の関わりを問う—英・独・日の歴史から」と題してシンポジウムをオンラインにて開催予定であるとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2023年1月28日(土)に「ダイバーシティ推進と日本社会の<不平等>」をテーマに、オンラインにてシンポジウムの開催を予定しているとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

報告事項は特になし。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

木下理事より、先日内閣府より出された「日本学術会議の在り方についての方針」への対応等について検討されているとの報告があった。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、第51回全国社会福祉教育セミナー2022「無関心が生む不正義と不誠実を乗り越えるために～変化の中でのソーシャルワーク教育を考える～」の開催報告があった。

議長は、議事終了を告げ、12時00分に理事会を解散した。

以上